

平成25年度施策評価シート

基本施策	誰もがやすらぐことのできる場を創出する		
総合計画での位置付け	政策	3	「すみよさ」のあるまちをめざして
	分野	4	住宅・公園
主要な計画	・耐震改修促進計画 ・みどりの基本計画		
基本施策を実施する背景や課題・目的	<p>・市内には、国立公園をはじめとした多くの自然や緑地が残されているとともに、市内5箇所を整備した自然環境を活かした合併記念公園は、市民生活に潤いとやすらぎを与えている。</p> <p>・本施策は、豊かで美しい自然のなかで、飛騨地域の中核都市として利便性の高い都市的サービスを受けながら安全で快適な暮らしを実感できる「すみよさ」のあるまちづくりをすすめるため、誰もがやすらぐことのできる場を創出することを目的としている。</p>		

1 概要

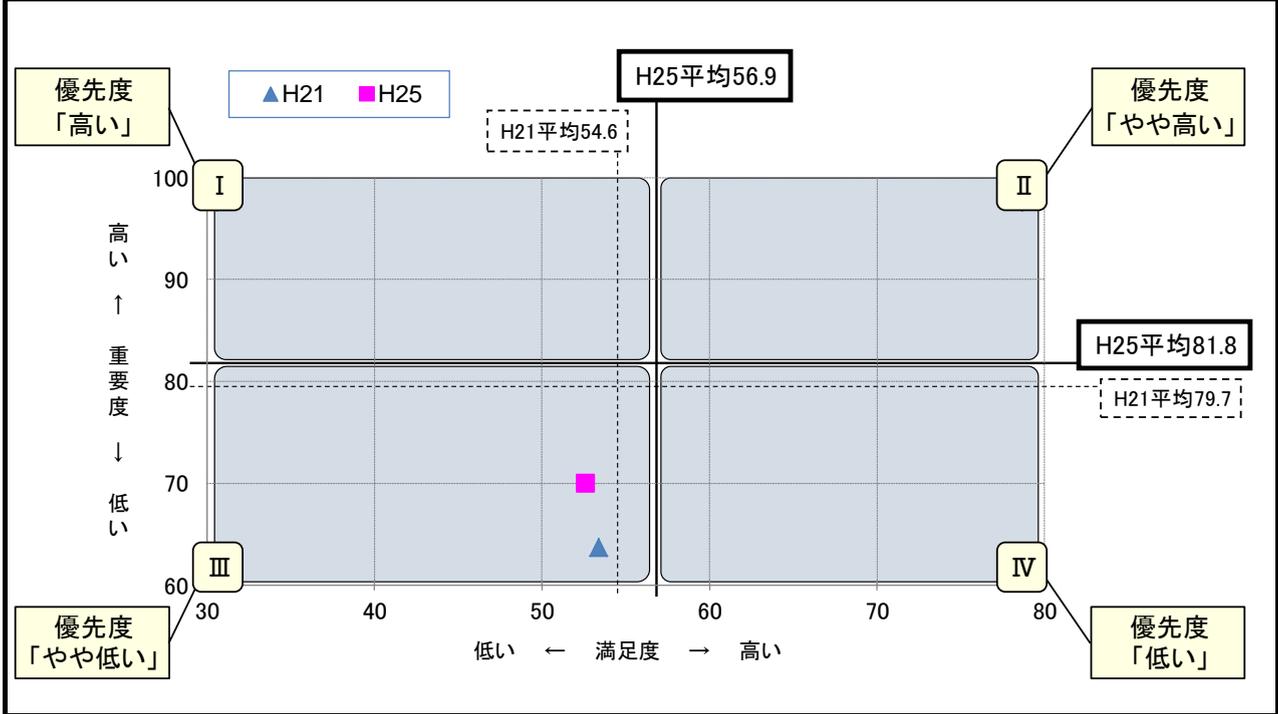
施策	目的	施策の内容	対象	施策の内容の目的	これまでの取り組み	担当部局
特色ある公園づくり	公園を安全に安心して利用できる環境を整備し、市民生活に潤いとやすらぎを与える。	市民の交流の場とした合併記念公園などの利用促進	市民・観光客	やすらぎや交流の場を提供し、多くのかたが公園を利用する	・広報たかやま、市ホームページなどにより合併記念公園のPRを行ない利用促進を図っている。 ・市や各種団体が主催するイベント等に利用されている。	基盤整備部
		地域の資源や特性を活かした公園の整備	市民・観光客	地域特性を生かした特色ある公園を整備し、やすらぎや交流の場として利用する	・歴史発信拠点である「まちの博物館」と一体となった「まちの博物館公園」を整備した。 ・既存公園についても、地元産木材等を利用し補修をおこなっている。	基盤整備部
		中心市街地において誰もが気軽に利用でき、まちの魅力を感じられる小公園の整備	市民・観光客	やすらぎや交流の場を提供する	・江名子川周遊路整備と合わせ、沿線にスポットを整備した。	基盤整備部
		安心して遊べる公園づくり	児童	地域で安心して遊ぶことができる	・児童の健全育成や健康増進のため、児童遊園を設置し、適正な管理に努めている。 ・地域における児童の健全な遊び場の確保のため、町内会等が管理する公園の賠償責任保険に加入している。	福祉部
			市民・観光客	安全な公園を整備し、多くのかたが安心して利用する	・公園の遊具については、年3回遊具点検を実施しており、必要に応じて補修を行っている。	基盤整備部
		町内会などが管理する児童遊園地の整備に対する助成	児童	地域で安心して遊ぶことができる	・地域における児童の健全な遊び場の確保のため、町内会等が管理する公園の整備に対し助成している。	福祉部
親しみ愛される公園づくりの推進	市民	公園に親しみをもち、多くのかたが利用する	・一部の公園については、周辺の住民の方に清掃や植栽を行ってもらい、親しみやすい公園づくりを進めている。	基盤整備部		

2 指標の推移

指標名	単位	関連 施策	好まし い 方向	H21	H22	H23	H24	目標	指標値の把握方法 目標値設定の考え方
公園利用満足度	%	1-ア	↑	-	89	91	94	100	利用満足度は「普通」以上を集計し計上
市民一人当たりの公園面積	m2	1-イ	→	13	13	13	13	13	都市公園条例の一人当たりの標準公園面積を上回っている
町内管理公園賠償責任保険加入数	件	1-エ	↑	143	147	147	143	150	実績に基づく推計
町内管理公園整備助成件数	箇所	1-オ	↑	12	6	2	9	10	実績に基づく推計
担当部局	補足説明								
基盤整備部	・市民一人あたりの公園面積の算出は、都市公園、地区公園、児童遊園の総面積を対象としている。								

3 市民アンケートの結果

		現在の「満足度」		今後の「重要度」		市民満足度を高めるために改善等を行う優先度	
H21 (前回)	点数	53.4	(平均) (54.6)	63.7	(平均) (79.7)	Ⅲ	やや低い
	順位	42施策中 27 番目		42施策中 42 番目			
H25 (今回)	点数	52.6	(平均) (56.9)	70.0	(平均) (81.8)	Ⅲ	やや低い
	順位	43施策中 33 番目		43施策中 43 番目			



※「満足度」、「重要度」・・・まちづくり市民アンケートに対する各項目の回答件数をもとに点数化した数値

$$\text{満足度} = \frac{(\text{満足}) \times (50) + (\text{やや満足}) \times (25) + (\text{やや不満}) \times (-25) + (\text{不満}) \times (-50)}{(\text{回答数}) - \{(\text{分からない}) + (\text{無回答})\}} + 50$$

$$\text{重要度} = \frac{(\text{重要}) \times (50) + (\text{やや重要}) \times (25) + (\text{あまり重要でない}) \times (-25) + (\text{重要でない}) \times (-50)}{(\text{回答数}) - \{(\text{分からない}) + (\text{無回答})\}} + 50$$

※市民満足度を高めるために改善等を行う優先度

「満足度」が平均未満で「重要度」が平均以上の施策	→	I 優先度が「高い」
「満足度」が平均以上で「重要度」が平均以上の施策	→	II 優先度が「やや高い」
「満足度」が平均未満で「重要度」が平均未満の施策	→	III 優先度が「やや低い」
「満足度」が平均以上で「重要度」が平均未満の施策	→	IV 優先度が「低い」

4 一次評価(担当部局による評価)

担当部局		福祉部	
施策	施策の内容	七次総合計画における検証(成果や課題)	今後の方向性
特色ある公園づくり	安心して遊べる公園づくり	・町内会等が管理する公園の賠償責任保険の加入や児童遊園の適正な管理を行い、地域における子どもが安心して遊べる公園として利用されている。	・安心して遊べる公園づくりについては、市の公園全体の中での取り組みとして、引き続き実施していく。
	町内会などが管理する児童遊園地の整備に対する助成	・町内会等が管理する公園の整備に対する助成を行い、地域における子どもが安心して遊べる公園として利用されている。	・引き続き実施する。
総括		<p>・市民アンケートにおいては、施策に対して満足度がやや低い一方、重要度は高いが、優先度が「やや低い」となっている。市の管理する公園として、特色ある公園づくりや安心して遊べる公園づくりについては、市全体の中での取り組みが必要である。</p> <p>・児童遊園等を整備、管理することにより、誰もがやすらぐことのできる場の創出に取り組む。</p>	

担当部局		基盤整備部	
施策	施策の内容	七次総合計画における検証(成果や課題)	今後の方向性
特色ある公園づくり	市民の交流の場とした合併記念公園などの利用促進	・整備後5年を経過し公園の認知度も上がり、市民の交流の場として利用が図られてきた。	・更なるPRを実施し、利用促進を図る。
	地域の資源や特性を活かした公園の整備	・「まちの博物館公園」を歴史発信拠点の「まちの博物館」と一体的に整備したことにより、歴史に触れながら憩える場として機能している。	・公園の改修等では、地域の伝わりごとを案内板に掲載するなど地域の特性に配慮した整備を実施していく。
	中心市街地において誰もが気軽に利用でき、まちの魅力を感じられる小公園の整備	・江名子川周遊路整備と合わせ、スポット整備を行い市民や観光客の憩いの場を提供することで周遊路の機能向上を図った。 ・中心市街地において、これまで整備してきたスポットが老朽化している。	・小公園の整備は、既存の景観スポット等を活用した整備とし、休憩機能の充実を図っていく。 ・歴史的風致の向上につながる整備をしていく。
	安心して遊べる公園づくり	・公園の遊具については、年3回遊具点検を実施しており、必要に応じて補修し安心して利用できるようにしている。	・引き続き安心して利用できる公園を目指し、環境整備を行っていく。
	親しみ愛される公園づくりの推進	・一部の公園については、周辺の住民の方が清掃や植栽を行い、親しみやすい公園づくりができています。	・地域で育てる花壇の設置など、より親しみやすい公園となるよう整備を進める。
総括		<p>・市民アンケートにおいては、施策に対する満足度、今後の重要度共に低い結果となっていることから、機能維持や満足度向上にむけた取り組みが必要である。</p> <p>・魅力的で親しみのある公園の整備と、市広報紙等を活用した公園情報の発信を行い、誰もが親しみやすいことのできる環境の整備に取り組む。</p>	

5 二次評価(企画課、総務課、財政課評価)

課題	今後の方向性
<p>主な課題としては、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用頻度が低い公園がある。 ・多額の維持管理費用を要する公園がある。 <p>といったことが上げられる。</p>	<p>市民アンケートの結果、施策に対する今後の重要度は低くなっているが、現在の満足度が低いことを踏まえ、緑の基本計画に基づき、生活に潤いとやすらぎを与えてくれる貴重な場である公園や緑地等の適正な維持管理と活用に取り組んでいく必要がある。特に、利用頻度が低い公園については、あり方について再検討するとともに、維持管理費が多額な公園については、管理手法や設備等について再検討する必要がある。</p>

6 外部有識者の評価・意見

七次総合計画における検証に対する評価・意見
<p>・二次評価の課題として列挙されている「利用頻度の低い公園がある」「多額の維持管理費用を要する公園がある」について、何が原因でそのような事態が生じているのかを分析し、これを踏まえ目指す姿と問題点とのギャップを埋めるために取り組むべき課題を提示する必要がある。</p> <p>・利用頻度の低い公園について、その理由は何か、利用を阻害している要因の分析などが行われていないようである。また、公園建設から管理に向かう時代の課題の抽出が不十分である。</p>
今後の方向性に対する評価・意見
<p>・指標に掲げられている「市民一人当たりの公園面積」が、すでに目標値の10㎡を上回る13㎡に達している状況を踏まえ、今後は既存の公園施設の老朽化対策や、廃止も視野に入れた利用頻度の低い公園のあり方の見直しに重点を置いた施策・事業を推進すべきと考えられる。</p> <p>・住民による管理組織など、地域との連携・協働を進めていく中で管理コストの削減と利用の促進につながるヒントが得られる可能性がある。住民ワークショップの実施などの取り組みに期待したい。</p>
その他意見
<p>・公園建設から公園の維持管理に重点が移行する時代を迎えて、住民ニーズに適切に応えるとともに安定的な管理を持続することが可能となるような工夫が望まれる。</p>

【参考】基本施策に関連する予算事業の分析・評価(平成25年度事業評価における担当課評価)

関連 施策	事業 コード	事業名	評価					事業費決算額(千円)		
			市民ニ ズの確 認	市が実 施する必 要性	活動内 容の有 効性	執行方 法の効 率性	政策面 における 評価	点数	H23年度	H24年度
1-イ、エ	74605	公園整備事業費	A	A	A	B	B	80	9,835	20,959
1-オ	32112	児童遊園地管理費	B	B	B	B	B	50	4,807	4,867
1-オ	32142	児童遊園地整備費補助金	B	A	B	B	B	60	660	1,875

集 計	区分	個数					平均点	H23年度	H24年度
	A	1	2	1	0	0	63.33	15,302	27,701
	B	2	1	2	3	3			
	C	0	0	0	0	0			
	-	0	0	0	0	0			